

エメラルド研修を行いました！

平成 30 年 10 月 3 日(水) 10～15 年目の看護師を対象に心不全患者の看護について研修を行いました。

『心不全の病態、看護について理解を深め、看護師の役割を再認識することができる』を目的としました。

研修に 9 名の看護師が参加し、講師には、公立甲賀病院より慢性心不全看護認定看護師 平井太郎先生にお越しいただきました。

①グループワーク

『心不全患者の看護を行う中で、患者・家族と何を大切にして関わっているか、また各部署が抱えている問題点と課題』をテーマに情報共有しました。

②講義



講義内容は、

『心不全の病態生理、検査データ、フィジカルアセスメント、患者さんの問題点の捉え方、多職種との関わりについて等』でした。

貴重な講義には研修対象者以外にも各部署より 15 名の参加が得られました。

③グループワーク

講義での学びから初めのグループワークで抱えていた問題点や課題にどのような解決策が挙げられ何をしていくべきなのか。また『心不全患者を支えるために必要な看護の視点とは』というテーマで話し合い発表しました。

慢性心不全は長期的には慢性かつ進行性に心機能が低下していくものです。事前調査では入退院を繰り返す患者に関わったことがある、指導方法がわからないという声が多くありましたが研修終了時にはたくさんの視点・具体的な改善策が聞かれました。

- 患者の病態の理解、心不全の増悪因子を把握する。
- 患者自ら生活習慣の改善の必要性に気づくことができるように介入する。
- 患者の性格、生活に寄り添い、生活に合わせた無理のない範囲で継続できる工夫を患者と一緒に探す。
- その人が譲れないところは何か、一方でここは頑張りましょうねと折り合いをつけながら進めていく

など大切な視点が共有できました。それには、医師、薬剤師、栄養士、リハビリスタッフなど多職種が縦割りで患者に携わるのではなく、同じ目標をもって横でつながり継続看護をしていくことが大切であると再認識しました。この学びが各部署で活かされることを期待します。また、今回の基本的な看護の学びを、来年度は更に発展させ、多職種との連携について深められる内容で企画します。



看護部教育委員会
担当：吉岡 沢井